

たむら よしゆき
田村 禎通

Tamura Yoshiyuki



保健福祉学部 理学療法学科 教授

研究者略歴

○生年月	1946年8月
○学歴	徳島大学医学部医学科卒業(1971. 3)
○学位	学士(医)(徳島大学/1971. 3) 博士(医学)(徳島大学/1976. 6)
○主な職歴	徳島大学助手医学部附属酵素研究施設(1974. 11) 徳島大学助手医学部附属病院(第二内科)(1979. 4) 徳島大学講師医学部附属病院(第二内科)(1982. 5) 国立療養所東徳島病院内科医長(1989. 7) 国立善通寺病院臨床研究部長(1993. 7) 国立善通寺病院副院長(1994. 10) 国立善通寺病院院長(2003. 10) 独立行政法人国立病院機構善通寺病院院長(2004. 4) 徳島文理大学保健福祉学部看護学科教授(2012. 4) 徳島文理大学保健福祉学部理学療法学科教授(2020. 4)
○専門分野	内科学一般 循環器内科学
○所属学会	日本内科学会 日本循環器学会
○担当授業科目	文理学
○現在の研究	虚血性心疾患の成因・進展に関する臨床的研究 心臓突然死の原因・予防に関する研究

主な業績

○主な学会 ・社会活動等	① 日本循環器学会中国四国地方会評議員(1982. 5~2012. 3) ② 日本内科学会四国地方会評議員(1988. 5~2012. 3) ③ 第89回日本循環器学会四国地方会会長(2006. 12. 2) ④ 日本循環器学会正会員代表(2008. 3~2012. 3) ⑤ 日本循環器学会中国四国地方会功労会員(2012. 4~現在)
○主な研究論文 ・著書等	① 虚血性心疾患における血清リポ蛋白(a)と線溶系因子との関係について, 田村禎通, 岩野健造, 由井靖子, 石田孝敏, 松岡雅子, 岩本正博, 小田修治, 手束一博, 中園雅彦, 村上 剛, 心臓, 第27巻, pp. 857-863(1995. 10) ② 虚血性心疾患の危険因子としての線溶系, 田村禎通, 添木 武, 医療, 第54巻 pp. 551-560(2000. 12) ③ 虚血性心疾患患者の心血管事故発生の予測因子, 田村禎通, 添木 武, 篠原尚典, 酒部宏一, 小野瀬由紀子, 福田信夫, 臨床と研究, 第78巻, pp. 1648-1652(2001. 9) ④ Serum hepatocyte growth factor predicts ventricular remodeling following myocardial infarction, Soeki T, Tamura Y, Shinohara H, Sakabe K, Onose Y, Fukuda N, Circ J, vol. 66, pp. 1003-1007(2002. 11) ⑤ Elevated concentration of soluble vascular endothelial cadherin is associated with coronary atherosclerosis, Soeki T, Tamura Y, Shinohara H, Sakabe K, Onose Y, Fukuda N, Circ J, vol. 68, pp1-5(2004. 1) ⑥ QT-interval dispersion in type 2 diabetic and non-diabetic patients with post-myocardial infarction, Nutr Metab Cardiovasc Dis, Sakabe K, Fukuda N, Wakayama K, Nada T, Morishita s, Shinohara H, Tamura Y, Nutr Metab Cardiovasc Dis, vol. 18, pp. 121-126(2008. 1) ⑦ 組織ドプラ法を用いた僧帽弁輪移動速度と心臓リハビリテーションにおける至適運動処方との関係, 福田大和, 福田信夫, 森下智文, 篠原尚典, 田村禎通, 吉田誉, 安田理, 下江安司, 心臓リハビリテーション, 第17巻, pp. 110-115(2012. 1)